

平成27年4月2日～4日

国立駅周辺まちづくり事業の検討状況及び国立
駅南口複合公共施設整備基本計画(素案)に関する
市民説明会・意見交換会 意見等まとめ

人数等

	来場者数
4月2日(木)	28 名
4月3日(金)	9 名
4月4日(土)	12 名

意見の内訳

カテゴリ	意見
南口複合公共施設	32
高架下	14
旧国立駅舎	3
駐輪場	13
報告会について	15
その他の国立駅周辺整備について	22
計	99

主な意見

南口複合公共施設

【意見】
南口複合公共施設について6階から9階建ての案を示されたが、例えば国分寺駅のようにホテルあり、子育てスペースありの状態になるのだと思う。ただ、国立駅南口がそのようになるのだと思うと、少し驚いた。
駅前図書館については15年近く前から述べ5000人以上の陳情が集まっていると思う。そんな中で駅前図書館ではなく、突然に多目的ホールが入ってきたのはなぜか。
多目的ホールの稼働率はどのように考えているのか。
上層階のマンションの「住宅系」というのは売却が賃貸か。賃貸にしる売却にしる、所有している権利者はどこなのか。
資料を見ると市が底地権を持っているようだから、賃貸料を受け取れるわけだと思う。ところが公共施設を入れたほうに関しては逆に市が業者に賃貸料を払うのか。
業者から受け取る賃借料がいくらで、こちらが公共施設として払う賃借料がいくらかというプラスマイナスの計算があると思うが、そういうことはこれからということか。
公共施設の中に駅前図書館を入れるべきである。芸術小ホールとかぶるような多目的ホールを作るよりも、前々から市民の要望があった図書館を入れるべきではないか。
仮に図書館を整備したとしても、国立市には本の購入予算がないので、施設だけ立派になってもダメである。
「子ども・文化・賑わい」というコンセプトに沿って多目的ホールを入れるのならば、図書館を入れてもいいはずである。現在の国立の図書館には図書館機能が足りない。
子ども向けの「絵本の部屋」だけでなく、万人向けの駅前図書館も必要。駅前に図書館があれば、通勤帰りのサラリーマンなどいろいろな人が寄ってくる。
民間のお金で施設の上物が作られるのはわかったが、その場合はやはりどうしても商業を入れるという発想になってしまうので、それを前提として「なぜこうなったのか」という話をしないとなかなか理解してもらえないと思う。
やはり公共の施設をこの中に入れるにあたって、「子育て支援」とか「多目的ホール」という話がいきなり出てきた。「図書館はここに入れて、中央図書館は何か他の使い方ができないか」とか、ここに至った経緯みたいなものをお聞かせいただく機会があったほうがよかった。
この計画にあるように低層が商業・真ん中に公共・上に住宅が積まれているというのは、首都圏近郊の駅前のどこにでもあるような施設になってしまいそれほど魅力を感じないものになってしまうのではないかと。その点も含めて、もっと国立市民や他市の利用者にとって魅力あるものにするために話を詰める必要がある。
人口が減るのに、まだ9階建てのマンションを建てるのか。マンションがいっぱい建っているから、何も駅前にそんな建物を建てる必要は全くない。
「住宅系」に関しての説明がほしい。
私は国立に住んでいるのだが、「住宅系」についてのアンケートを採られた記憶がない。そのアンケートはいつ行われたのか。そして、どういったかたちで市民の声を聞いたのか。
前述の「住宅系」等の話は事業者にアンケートを採ったとのことだが、最終的にはどのように決定するのか。
「文教都市」として他に恥じないような、充実した多目的ホールを作ってほしい。今現在あるくにたち芸術小ホールは遠いので、駅前に立派なホールが必要だと思う。
事業者にアンケートを採ったと聞いたが、どこに対して、どのようにアンケートを採ったのか。
くにたち芸術小ホールは何席あるのか。
多目的ホールは本物のアート体験ができる、「文教都市」として恥じない施設にしてほしい。
駅前に「保育の送迎ステーション」があるといい。
健康をセルフチェックできるような施設がほしい。例えば、骨密度や体組成等を手軽にチェックできるようになれば、国立市が健康で長生きのできるまちになるのではと思う。

南口の複合公共施設建設のための費用約16億5千万が用地を購入するよう見える。この土地はもともと国立市の資本だから、市民に誤解を与えてしまう。
素案の中に突然「市民ホールを作る」という話が出てきたが、以前から要望の多い駅前図書館設立の話が入っていないのはなぜか。
今回の素案の中にも「絵本の部屋」等の子ども向け施設はあるものの、サラリーマン等の大人に向けた図書館施設が存在しないため、利便性を考えても駅前図書館の重要性は高いと思う。新しいコンセプトに基づいた駅前図書館の設立をぜひ検討していただきたい。
市の方が「駅周辺と言えば北市民プラザに図書館があるだろう」と言ったが、北市民プラザは駅から歩いて行けるほどの近さではないと思う。また、この駅前図書館については30年前に要望書が陳情で採択されたり、これまでに13回ぐらい要望書が市に提出されているということであり、それだけ注目度が高い。「建設用に十分な面積が取れないから」と言うが、狭くとも分館として機能している例もあるし、そんなに広くなくとも、子どもたちから高齢者まで無料で使える図書館というのは「文教の町」として大事だと思う。
駅前図書館については長年要望も出ているし、小さくともよいのでぜひやってもらいたい。公民館の図書室は公民館を利用する方に便利だし、同じように駅にも駅利用者にとって便利な図書館があるといい。
財政の負担について聞きたい。16億いくらかあったが、目処はついているのか。
先ほど私が駅前図書館の必要性を述べた際に反論があったが、そもそもサラリーマンの利便性を軽視するような意見には大いに疑問がある。また、「駅前にそんなに集中させるのか」という意見については、今回はたまたま駅前に複合施設という入れ物ができるわけで、そこに図書館を作ったらどうかと要望しているわけである。それと、駅前に作ることでサラリーマンはもとより、商業施設へとショッピングに来る他の市民の方にも利用していただけたらと考えているので、けしてサラリーマンの利便性のみを考えた提案ではない。
現在、「多目的ホールかオープンスペースの中に、自治会や商店街や老人会等の会合ができる場所を作ってほしい」という提案の準備をしている。
国立市は税収の面でこれから成長がない、限られたお金をどう使うかをよく考えていかないといけない。例えば、今回の計画に必要な金額を具体的に精査していくと16億で済まないようなことが隠れているのではないかという疑問を持っている。

高架下

【意見】
高架下の市民利用施設において、「道の駅」のように特産物を販売できる場所を作ってほしい。国立と国分寺、両市の特産農産物を売ることで、都市農業を活性化させて、これ以上の衰退を防ぐ。
JRの高架下施設がオープンになると聞いたが、この「高架下市民利用施設」というものとは、場所からしてどういう関係になるのか。
高架下も含めたスケジュール設定について。フローを見ると当初の基本計画、実施計画、それから築造工事、それぞれが1年ずつオーバーラップしているが、それはどうしてか。事情があれば知りたい。
南北の通路について。東側に自動車で行けるガード下の道以外はかなり走りづらい。改札が少し西側に移ったので、このままでは西から行って改札まで数100メートル戻らなければいけない。もう一箇所くらい改札口がほしい。
西側に駅ビルがあるが、北側に抜ける道にはならないのか。東だけでなく西のほうもそういう道があったら便利である。
高架下東側の市役所機能については大変よい。運営時間を8時から9時ごろまでやってくると、特に共働きの方にも非常に便利だと思う。
Nonowaが駅にできるのは確実なのか。
駅前図書館の開館時間について、例えばサラリーマンの利用を考えるのなら夜9時ぐらいまでは開館していないといけない。

武蔵境の図書館は好きだが、あの図書館は駅の真下ではなくて、緑の空間を挟んでいる。そういう意味で、高架下とはロケーションが違うのではないか。

高架化になって東西に長くなった敷地の回遊性をより充実させるには、南北の自由度が非常に重要になる。東西に関しては特に歩行者空間がたくさんできるのでいいが、南北に関してはもうちょっと検討する必要がある。

西口改札はnonowaができれば必ずできると思うので、その際に同じくできる南北通路をちょうど施設の出入り口にあたる場所に調整していただきたい。

各施設機能の考え方の中に「待ち合わせ場所・休憩スペース」がある。回遊性や利便性や親しみを考えると、複合施設にもオープンスペースがあったほうがいい。

東側の高架下市民利用施設について、北側と南側に出入り口があるが、単に通れるというだけではなく、もっと通り抜けやすくしてはどうか。施設を利用しない人でも通り抜けられるようにすれば親しみも出るし、見通しもよくなる。

旧国立駅舎

【意見】

旧駅舎が再築される南口駅前広場について、案が2つあったと聞いた。最終的に市長判断でロータリーは残すことになったようだが、棄却されたもうひとつの案はどういったものだったのか。

旧駅舎と新駅舎の景観のバランスも考える必要があると思う。

旧駅舎についてだが、具体的にどこが出入り口になるかとか、敷地や高架あるいは南北通路との関係を絵に入れてほしい。そうしないとちょっと検討しづらいと思う。

駐輪場

【意見】

駐輪場がかなり西側に移動しているが決定事項か。

駐輪場を移動するにあたって、市民から意見を聞く場などはあったのか。

駐輪場は「台数が増える」とのことだが、それだけの自転車が駐輪場に向かうまでの道の整理も大変ではないだろうか。動線など考えているのかを聞きたい。

駐輪場が減ったり遠くなったり、市民にとっての不便さは変わっていない。ぜひ利便性重視で考え直してほしい。

商業施設の中を通すために駐輪場を外に置くというのは、利便とは言わない。通勤者が楽に通動できるように計らうことが利便である。

駐輪場の説明会で駐輪場の移動は決定されていて、市民の意見を聞く等は特になかった。市民と一緒に複合施設のことを考えるなら、そのための委員会を作るべきだ。

理念というのなら、きちんと「安心安全なまちを作る」という理念を生かして、「その理念に基づいて、これこれこういう理由で駐輪場は移動した」ということを説明してほしい。コンセプトや理念が本当にこれでいいのか市民に問い掛けて、一緒に計画を考えていったらいいのではないか。

複合施設の地下に駐輪場を設けるという案は出なかったのか。

国立駅周辺まちづくり基本計画の図に「高架下での駐輪場整備の検討」と書かれているが、具体的な年度等は決まっているのか。

市内の人がこれから高架下周辺に集まるようになった場合、放置自転車対策はどう考えているのか。

最近車の量がさらに増えているので、駐輪場までの間の事故が増加する危険はないか。言葉で「安心、安全」だけではなく、より具体的に検討したほうがいい。

「大学通り沿道駐輪場」も廃止になると聞いた。この中でどれが廃止になるのかがわかっているら教えてほしい。

新しくできる駐輪場の利用料金を教えてほしい。

報告会について

【意見】
本日は「意見交換・市民説明会」となっているが、「駐輪場に関しては決定事項だが、その他の施設については意見交換をしていきたい」ということか。
交通計画案にしても、交通混乱を引き起こすとして批判されている案なわけで、それを率直に受け止めたようなかたちで出してくられるのはおかしい。
意見を出した場合、一体どの程度までの意見ならば修正なり反映なりにつながるのか。あるいはどれが決定事項なのかがよくわからない。
どういう意見を求めているのか。具体的に「高架下のこのことについて意見がほしい」なのか、「このコンセプトについてどう思うか意見がほしい」なのか。
真面目に答えてほしい。
いくつかは「計画の段階であって決まっていない」のだから見直すことができるのではないか。
基本計画ありきでやってるんじゃないだろう。意見を聞くということは計画変更もありうるのではないか。
「利便性をよくしてほしい」「図書館がほしい」「9階建てのビルの中身を変えてほしい」などの意見が出ているが、それについては設計変更できるのか。
もう少し市民の意見を聞いてくれる場を設けてはくれないか。今回はあくまでも意見交換会の第1回目ということで、もっと回数を重ねてほしい。
「説明会をしっかりとやったあとにパブコメを求める」というかたちでやるべき。本当に市民と対話してやっていこうと言うのなら、まずはパブコメの締め切りを延長してほしい。そして、今回出た意見を集約して、資料も作りなおして、説明会をもう一度やるべきだと思う。複合施設建設はとても大きなことなので、失敗してからでは一生後悔することになる。ここは仕切りなおしてしっかりとやるべきではないか。
「平成21年度の11月から検討している」という話だが、初めて知って、非常にびっくりしている。
行政の側は、もっと内容を絞ってからこういった会を行ってほしい。
結局こういった意見交換会は今後あるのか。
進め方について。ワークショップ等を行う予定はあるのか。
今出ている全体計画図は古いと思うので、現状に合わせて随時更新してほしい。

その他の国立駅周辺整備について

【意見】
あまりJR国立駅を使わない市民にとってのメリットはどうか。また、例えば子育て一時預かりなどに市民の要望がどれだけあるのか。
図書館については貸し出し機能に加えて「勉強ができたり、本が読める場」としての機能が求められている。
子どもの一時預かりは、駅のような人がたくさん集まる場所だと、何かあった際に混乱が生じる。例えば災害時の避難経路など、駅ならではの不安もある。
前市長と今の市長では計画が180度違うのに、駅前のロータリーを残すだけで、他の計画については見直しなく進んできているのがおかしい。
世論調査をしても駐輪場と図書館は第1位、第2位に挙がるほどに要望されているのに、それを一向に採用しないのはおかしい。
「高架下市民利用施設」については今回は意見を募集しているわけではないのか。
「国立は文教都市」と言われるが、この計画の中に「国立は文教都市」とイメージできる部分があるか。

<p>3・11の際にも国立駅周辺で帰宅困難者がたくさん出たのだが、この計画案に防災計画は盛り込まれていないのか。</p>
<p>この地域は事故多発地帯。ただでさえ危険な地域なのに、それが自転車と車と南北に通る道までできるという大変なことになる。シミュレーションをしたと聞いたが、本当なのだろうか。実際に住んでいる我々にはとても大きなことなので、充分留意してもらいたい。</p>
<p>少子高齢化の時代にもう少しまともな計画を立てないと、よそのまちと同じものができるだけである。もっと真剣に考えて、我々60年も70年もここに住んで人間が住みやすいようなまちを作り上げたいと思っている。なのに、全然そうは感じられない。</p>
<p>「国立らしい景観」ということは検討されたのだろうか。</p>
<p>北口利用者の90パーセントは国分寺市民である。国分寺市民の意見や意向を集約できる機会というものを作ってくれないか。以前北口で児童が事故に遭って亡くなるという痛ましい事件があり同じ事故を繰り返さないためにも、しっかりと利用者の声を聞いて決定していただきたい。</p>
<p>昔から国立に住み、たくさんの会合に出てきた身からすると、国立の市民は勝手なことばかりを言うきらいがある。みんな意見は言うが金を出さない。金が掛かるようなことになると、「金のムダだからやめろ」となる。独裁とまではいかないが、行政の側としてはある程度はっきりしたスタンスで対処してはどうだろうか。そうでないと目的が何で、メインが何かかわからないので、市民の側も何を言えればいいかが定まらない。</p>
<p>現在の国立近辺は非常に渋滞が多い。車が動きやすくなるように交通規制をうまくしてほしい。国立駅南口には人を降ろしたり乗せたりする場所がない。</p>
<p>東側から西に入る道路が非常に狭いので何とかしていただきたい。</p>
<p>駅前開発のために、富岡製糸場の見学を行ってはどうか。同規模のとても大きな開発案件として学べるのがたくさんあると思う。</p>
<p>再生可能エネルギーの導入についてはどういったプランがあるのか。</p>
<p>現在、国立市にある図書館は、他市に比べて量・質ともに低いと言える。国立市の図書館の代表格と言える国立中央図書館ですら、未だ錆びた鉄製の書架を天井いっぱいまで配置しており、設備が古いといわざるをえない。</p>
<p>「国立中央図書館が老朽化している」という話と「駅前図書館を作るべき」という話はそれぞれ別の問題なのではないか。</p>
<p>駅前にいろんな市の施設を集中させる必要はないと思う。例えば駅前図書館ができればサラリーマンや他市の方などの利便性は高くなると思うが、市内に住む他の住民にとってはそれほどでもないのではないか。</p>
<p>駅というのは50年100年のものなので、子孫に国立市の価値を残すということで、やはり位置についても検討していただき。景観についても「この位置ならこれくらい見える」といった風に予測をして検討してはどうか。</p>
<p>「周遊」と言われているが、漠然とした言葉としてではなくて、「国立全体の周遊」「4つの駅の周遊」「中央線の国立駅あたりの周遊」といった具合にそれぞれの周遊の関連性までを捉えていけるといい。</p>